

	質問概要	回答	募集枠
1	過去に実施していた事業を復活させる場合、小規模・スタートアップ枠に応募可能か。	過去の事業をそのまま復活するのではなく、過去の事業の実績をもとに、新たに拠点形成に向けた取組として実施するものであれば、対象になります。	小規模
2	事業としては継続するが、本補助事業に応募しない期間が含まれる場合、実施計画期間はどのように記載すれば良いか。	本補助事業の応募の有無に関わらず、初年度から連続した3～5年（一般枠の場合）の実施計画としてください。	共通
3	作品を設置する際の基礎工事・設営工事については、会場設営費として補助対象経費になるか。	原状回復が条件です。芸術祭等で会場に作品を設置する場合、撤去費が計上されている等で事業実施終了後に撤去したことが確認できれば会場設営費として補助対象経費とすることができます。	共通
4	芸術祭等のカタログや記録集を作成する際の写真撮影や印刷製本業務を一括契約する場合、委託費として補助対象経費に計上できるか。	委託費として計上していただくことは可能ですが、100万円以上の委託契約の場合は、委託費・補助金内訳書を作成し、同内訳書には募集案内p.7の補助対象経費に記載の該当する費目（雑役務費等）で計上してください（実績報告では金額によらず委託費・補助金内訳書の作成が必要です）。なお、記録集等を補助対象期間外に活用（販売等）する目的で印刷等する場合、当該経費は補助対象外経費となります。	共通
5	小規模・スタートアップ枠の募集案内p.1の「1. 事業の趣旨・目的」に「小規模自治体等が新しく始めようとする…」とあるが、「小規模自治体等」の定義はあるか。	「小規模自治体等」の定義はありません。スモールスタートを支援するため、比較的規模の小さい自治体にも使いやすいよう新たに設けた募集枠ですが、自治体規模にかかわらず要件に合致する事業であれば対象になります。	小規模
6	募集案内（一般枠p.16、小規模・スタートアップ枠p.17）の(3)「3 当該年度の取組予定」シートの説明に、「（具体的表現内容の記載を求めるものではありません）」とあるが、この記載の意図と具体的表現内容が何を指すかを教示されたい。	例えば音楽祭を例にとると、音楽祭の名称や目的、特徴、時期、場所、対象、演目などは記載いただいても、扱う作品の内容、演出などの具体的表現内容に係る記載は求めないということです。また、具体的表現内容を記載いただいてもその良し悪しで評価することはありません。	共通
7	募集案内（一般枠p.26、小規模・スタートアップ枠p.25）の「5. 事業名等の明記」について、年度当初に実施予定のイベントの広報物の一部に事業名等を表示できないことがあっても構わないか。	採択決定後、本申請のご案内をする際に詳細を通知するので、通知前に発注する必要があるなどの場合は、表示ができなくても構いません。ただし、当該広報物の作成を補助事業に含める場合は、発注（契約締結）日は、補助事業期間内である必要があります（募集案内（一般枠p.28、小規模・スタートアップ枠p.27参照））。	共通
8	小規模・スタートアップ枠の計画期間が3年以上（継続3年支援だから）となっているが、上限はないのか	特に上限を設けてはいません。	小規模
9	4年以上の計画で申請した場合、小規模・スタートアップ枠の継続3年支援が終了した後、同一の計画で一般枠に移行することは可能か。	可能です。例として、R7年度からR11年度までの5カ年計画とする場合、R7年度からR9年度まで小規模・スタートアップ枠に申請した後、R10年度以降は同一の計画のまま一般枠に申請することができます。なお、この場合、小規模・スタートアップ枠の採択期間は一般枠の補助率減の算定期間には含めません。（募集案内 小規模・スタートアップ枠p.5参照）	小規模

	質問概要	回答	募集枠
10	募集案内p.10の対象外経費にアーティストなどの活動に対する助成金・支援金とあるが、目的を定めたものであれば補助対象になるのか。	<p>アーティストなどの活動に対する助成金・支援金は、アーティストが自由に制作するための活動支援金等であれば補助対象外経費になりますが、補助事業の目的のために、補助事業の一環として実施する活動の経費に充てるものであれば補助対象経費とできます。例えば、補助事業として実施する展示会の作品制作や舞台出演に係る経費として制作者や出演者に支払う金銭が該当します。</p> <p>なお、補助事業の目的のために、補助事業の一環として実施する活動に係る経費であっても、募集案内に掲げる補助対象経費に該当し、かつ、実費のみが対象となります。収支予算書への計上時は、募集案内p.7の区分・費目に従い適切な費目へ計上してください。なお、補助金を費目として計上できるのは、地方公共団体から実行委員会等の執行団体に補助金や負担金として支出する場合に限ります。</p>	共通
11	域内世論調査について、実施のない場合は記載不要とあるが、統計調査に関連した設問があれば記載した方がよいのか、満足度に対する設問でなければ記載できないのか。	文化芸術活動に関する満足度調査の設問がある場合のみ、ご記載ください（本項目の記載が無いことだけをもって審査に影響することはありません）。	一般
12	ロジックモデルにおいて、効果測定シートのアウトプットとアウトカムを転記とあるが、目標の数だけ、アウトプットとアウトカムが必要か。	効果測定の独自指標について、事業目的に整合し、実施計画に掲げる目標の達成度を把握することができる指標（アウトプット、短期・中長期アウトカム）を設定いただく必要がありますが、目標の数と必ずしも一致させる必要はございません。ただし、各目標にはいずれかの指標が対応するようにしてください。	一般
13	ビエンナーレで準備期間の年度は応募しなかった場合、前年度は採択がないので「前年度の成果（達成度）とそれを踏まえて当該年度に改善・工夫する内容等」への記載は必要か。	実施計画書「事業趣旨・効果」シートの【前年度の成果（達成度）とそれを踏まえて当該年度に改善・工夫する内容等】は前年度に採択された団体のみ記載いただく項目です。前年度に採択されていない団体は、事業を実施していた場合でも記載不要です。	一般
14	募集案内p.4の具体的な要件の1つに、「地方公共団体が主体的に実施する事業であること」とあるが、事業を実施するのに適した法人等に補助事業の全部又は一部を実施させる場合でも、実施主体である地方公共団体が全体を統制できていれば問題ないとされている。地方公共団体の主催・共催ではなく、執行団体が実行委員会の構成員でない場合も地方公共団体により統制がとれていれば補助対象となるか。	<p>補助事業の全部又は一部を実施させる執行団体は、地方公共団体が構成員となる実行委員会や実行委員会を構成する団体でなくとも構いません。ただし、地方公共団体が主体的に実施する事業であることが要件となりますので、執行団体（申請団体となる地方公共団体とは異なる団体）が自主事業として従前から実施してきた事業は原則、対象外です。</p> <p>また、地方公共団体が後援する事業を補助対象とすることはできません。（募集案内 一般枠p.47、小規模・スタートアップ枠p.41のQ&A 1,2を併せて参照ください）</p> <p>地方公共団体の主体性が十分に発揮できる体制になっているかどうかは、「実施体制」シートをはじめ実施計画書の記載より総合的に判断させていただきます。</p>	共通
15	3年目の事業に新規事業を付加して4年目を申請する場合、補助率の5%減は継続事業のみなのか新規事業も含めてなのか。	<p>新規事業の部分も含めた補助対象経費全体に対して補助率の上限が逡減します。</p> <p>なお、団体の通算採択年数に応じて補助率の上限を逡減するため、実施計画を変更した場合でもリセットされません。</p>	一般
16	「計画のロジックモデル」の「実施計画期間の取組」欄について、応募していなかった過年度の期間も計画期間に含む場合、実績の記載は必要か。	<p>「計画のロジックモデル」の「実施計画期間の取組」欄は、実施計画期間に応じてご記載ください。</p> <p>応募していなかった過年度の期間も含めて実施計画期間とする場合は、過年度の実績を下段アウトプットに記載してください。</p>	一般

	質問概要	回答	募集枠
17	「計画のロジックモデル」の「実施計画期間の取組（アクティビティ・アウトプット）」の記載に当たり、アウトプットの当該年度と最終年度の間年間の目標値や、過年度の取組・実績や将来の取組・見込みについて、実施計画書の他のシートには記載していないため、空欄の部分があっても構わないか。	実施計画の他のシートを基に、過年度及び当該年度以降の取組（アクティビティ）、実績または見込み（アウトプット）を記入してください。 アウトプットには、効果測定シートの指標に掲げているものを含め、申請事業の直接的な効果を表す実績または見込みを記入してください。 なお、過年度や将来の取組について、他のシートに記載がない部分は必要に応じて補記し、実施計画期間のすべての年度について記載してください。	一般
18	「計画のロジックモデル」の「実施計画期間の取組（アクティビティ・アウトプット）」欄について、1つの取組区分の中で、複数の具体的な取組を行うのですが、アクティビティやアウトプットを記載する際、同じ取組区分に属する複数の取組を1つのセルの中にまとめて記載して構わないか。それとも具体的な取組毎にセルを分けた方がよいか。	一つのセルに複数のアクティビティを記載いただいて構いません。 なお、アウトプットについても同様です。	一般
19	すべての取組に対するアウトプットを記載すると、数が非常に多くなってしまうため、主要な取組に関するアウトプットを選んで記載しても構わないか。	「計画のロジックモデル」については、一つのセルに複数のアクティビティを記載した場合、アウトプット欄には主要なアクティビティの指標を選んで記載いただいて構いません。 また、「4 効果測定」シートのアウトプットについても同様です。	一般
20	「計画のロジックモデル」について、「短期アウトカム」から直接「到達目標」につながる矢印があっても構わないか。 また、「アウトプット」から直接「中長期アウトカム」につながる矢印があっても構わないか。	構いません。	一般
21	「4 効果測定」シートについて、令和6年度に採択を受けている場合、前年度に設定したアウトプット及びアウトカムの指標を、令和7年度の申請において新たな指標に入れ替えても構わないか。	構いませんが、計画的な進捗管理に努めてください。	一般
22	「4 効果測定」シートについて、令和6年度に採択を受けている場合、前年度から引き続き設定している指標について、「計画最終年度の目標値」を変更しても構わないか。	「計画最終年度の目標値」を実施状況に伴い修正いただくことは問題ありません。 なお、【目標値（当該年度・計画最終年度）の設定根拠】は、目標値の変更が生じた理由がわかるように記載してください。	一般
23	「4 効果測定」シートについて、アウトプット、アウトカムの欄が再表示しても足りない場合、行をコピーして追加しても構わないか。	構いませんが、様式が崩れることのないようご注意ください。	一般